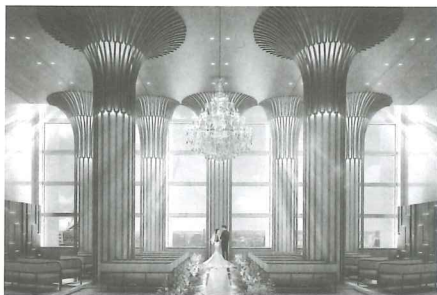


地上264mの美景×美食×美音をコンセプトにした結婚式場「OPERAHOUSE 東京」を2025年3月にオープン

(株)クリスタルインターナショナルは、新宿駅の隣、京王新線「初台駅」直結の超高層複合施設である東京オペラシティ最上階の54階に、結婚式場「OPERAHOUSE 東京」を開業すると発表した。美景×美食×美音の新しいコンセプトのもと、地上264mという東京の空に最も近い空間にチャペルと2つのバンケットを備えた。



挙式会場「チャペル オペラ」は天井高7.7m、パーズンロードは15mの壮大な空間となっている

チャペルは「人生の出会い」を象徴する木の幹をイメージした支柱が特徴的なデザインとなっており、コンサートホールと同規模のパイプオルガン、三重奏の生演奏が挙式に荘厳さを演出する。使用しているパイプオルガンは、イタリア最高峰の老舗オルガン工房「ZANIN 社」の職人が長い歳月をかけて創り上げたもので、約2000本のパイプが奏でる重厚で甘美な音色は印象深く記憶に残るものとなる。

東京の壮大なパノラマを見渡すことのできるバンケットは上質なおもてなしを実現するリビング併設の「THE CHIC (ザ・シック 40～140名)」とファッショナブルできらめくニューヨークの街並みをイメージした「THE CITY (ザ・シティ 40～100名)」があり、どちらもこだわりのインテリアが並んだ、明るい光の差し込む空間となっている。

同社は洗練された美景と共に特別なひとときのかなる式場とサービスで「最高に幸せな一日を創る」というミッションのもと、花嫁が理想とするウエディングを実現していきたいとしている。<多>

結婚式の新ブランド『ampersand』を10月にグランドオープン

(株)エスクリは東京・渋谷で運営する結婚式場「ラグナヴェール アトリエ」をリブランドし、新ブランド『ampersand (アンパサンド)』として10月23日にグランドオープンした。従来の結婚式では決められた会社の中から商品を選ぶことが一般的だが、『ampersand』ではフラワーコーディネーター、グラフィックデザイナー、フォトグラファー、ビデオグラファー、ヘアメイクアーティストなどのクリエイターたちのリストから新郎新婦が自由に選び、結婚式を作り上げていくというスタイル。『ampersand』とは二つの語句を対等に表すときに用いる「& (アンド)」の正式名称で、新郎 “と” 新婦、新郎新婦 “と” その家族がつながり、さらに個性豊かなクリエイター個人と契約してつながり、共に結婚式を作っていくところなどから名付けられた。

『ampersand』の結婚式を言葉で表現した際、“変革・想像・今までにないもの・品位・洗練・職人・こだわり” が連想されたことから、結婚式のコンセプトを“Unknown Wedding”とした。新郎新婦とクリエイターが自由な表現で紡ぐ未知の結婚式で、誰も見たことのない愛と芸術に満ちた祝福の空間

を創出していく。

なお、すでに「ラグナヴェール アトリエ」ブランドで受注した結婚式は、そのまま「ラグナヴェール アトリエ」として施行する。当面は「ラグナヴェール アトリエ」のホームページも残していく予定だ。<石>



『ampersand』のWEB上にはさまざまなクリエイターと共にその作品が見られるようになっており、自分たちの結婚式のイメージに合う方を選ぶことができる